

第26回 空手道糸東会関西地区選手権大会 競技規定

☆共通

- ※各種目参加人数が少ない場合は、その種目の中止、あるいは統合することがあるとともに、内容を変更することがある。
- ・初級とは白帯、中級とは初級・上級以外の色帯、上級とは茶帯・黒帯である。(厳守) ※基準日は2019年9月20日締切日
- ・壮年とは35歳以上のことで、一部が35歳から45歳まで、二部が46歳以上。なお、壮年の競技は有段・段外の区分なし。 ※基準日は大会日
- ・選手の胸マーク(各所属道場・学校)着用は自由。強化選手の日の丸着用は認める。なお、**送付したゼッケンは必ずつけること。**
- ・個人所有の赤青帯を着用してもよい。なくても大会本部で紐を準備している。
- ・競技中の負傷等の応急処置は主催者側(大会ドクター)で行いますが、その後の責任は一切負いません。
- ・出場者は、各自あるいは道場で、必ずスポーツ傷害保険に加入しておいてください。

☆形競技

[糸東会全国大会に準ずる得意形]

糸州派(首里手)

1. 平安初段 2. 平安二段 3. 平安三段 4. 平安四段 5. 平安五段 6. パッサイ大 7. パッサイ小
8. 公相君大 9. 公相君小 10. 四方公相君 11. 十手 12. 慈恩 13. 慈充 14. 腕秀
15. 鷲牌初段 16. 鷲牌二段 17. 鷲牌三段 18. 鎮東 19. 鎮定 20. 五十四歩

東恩納派(那覇手)

1. 十三 2. 十八 3. クルルンファ 4. シソーチン 5. 三十六 6. 征遠鎮 7. スーパーリンペイ 8. サイファ
- 松村派 1. パッサイ 2. 十三 3. 鷲牌 新垣派 1. 二十四 2. 雲手 3. 壮鎮
- 鶴法(具賢貴) 1. ハフファ(白鳥) 2. 二十八歩 3. 八歩連 松茂良派 1. ワンカン 2. アーナンコウ
- 北谷屋良 1. 公相君(クーサンクー) 泊 1. パッサイ

摩文仁賢和 1. 明星 2. 青柳 3. 新生 4. 十六 5. 松風 6. 心波

※今年度に限り、北谷屋良公相君は糸東会認定以外でも可とする。ただし、八歩連は糸東会認定のみ演武できる。

・ベスト16は、出場人数が9名以上の場合に該当する。出場人数が8~5名の場合は準々決勝に示された内容の形から開始され、4~3名の場合は準決勝に示した内容から、2名の場合は決勝に示した内容で競技を行う。

・すべて赤青選手同時に演武し、赤青フラッグ方式とする。

ベスト16まで (ベスト16を含む)		準々決勝 (ベスト8)	準決勝 (ベスト4)	決勝 (優勝者決定戦)
-----------------------	--	----------------	---------------	----------------

・幼児、小学生、中学生(初級・中級) 『最低1つ』の形でよい

平安初段~五段	平安初段~五段	平安形・指定形・得意形	平安形・指定形・得意形
同じ形を使用可	ベスト16までに演武した形も使用可	準々決勝までに演武した形も使用可	準決勝までに演武した形も使用可

・中学生(上級)、一般段外、壮年 『最低1つ』の形でよい

平安および第一指定形	平安および第一/第二指定形	平安形・指定形・得意形	平安形・指定形・得意形
同じ形を使用可	ベスト16までに演武した形も使用可	準々決勝までに演武した形も使用可	準決勝までに演武した形も使用可

・少年、一般有段 『最低2つ』の形が必要

指定形	指定形または得意形	指定形または得意形	指定形または得意形
同じ形を使用可	ベスト16までに演武した形も使用可	一度演武した形は使用できない	準々決勝までに演武した形は使用できない 準決勝で演武した形は使用可

※ 形競技選手のコート入場方法...

- 3審・4審横のコート後方角に待機し、名前を呼ばれたら礼をしないで斜め入場、開始線に進む。
- 正面に向き直り、礼をして演武形名を赤・青の順で申告したら主審の短笛合図で演武を開始する。
- 演武終了後、礼をして後方へまっすぐ下がりコート外で判定を待つ。(通常の終わり方)
- 不戦勝の場合は、コートに入らずコート外後方で判定を受ける。

☆組手競技

- ・競技時間 個人戦は、年齢関係なく、1分30秒フルタイムとする。
- ・勝敗 6ポイント差が生じた場合、または時間終了時に得点の多い競技者、または判定により、または反則等が課せられ勝者が決められる。
- ・競技 小学生以下については、12歳未満の組手競技規定を採用する。
- ・安全具 女子(幼児を除く) メンホー、ボディープロテクター、拳サポーター
男/女児(幼児) ヘッドギア、ボディープロテクター、拳サポーター、(男児のセフティーカップは任意)
(ヘッドギアは大会本部で準備する)
男子(小・中・少年) メンホー、ボディープロテクター、セフティーカップ、拳サポーター
(小学低学年のセフティーカップは任意)
男子(一般・壮年) メンホー、ボディープロテクター、セフティーカップ、拳サポーター

※全カテゴリー、上記以外に出来る限り、マウスピース、ならびにインステップガード・シンガード(WKFでもよい)を着装すること。

ただし、WKFタイプは赤色・青色の識別コーナーにあわせて着装のこと。白色はどちらのコーナーも可。

※全カテゴリー、拳サポーターは赤青のグローブタイプを着装のこと。ただし小学生以下はリバーシブルでもよい。

※幼児男子、および小学低学年男子のセフティーカップは任意であるが、着装せず事故にあっても大会本部では責任を負わないので、着装が望ましい。